

本日本語版は参考のための仮訳であり、提出する Application Form は英語版を利用して行うものとする。

以下各項目を記載(青字部分は削除してください)。可能な限り具体的かつ簡潔に記入し、必要に応じ証拠、参考資料、例を示すこと。

#### 書式ガイドライン(提出書類全体に適用)

1. 最長:PDF5 ページ(セクション 10 以降のアイテムを除く)。
2. フォント:≥ 11 pt(本文)、見出しは大きくしても良い。
3. 行間: 最低シングル(1.0)
4. マージン:1.5 cm 以上

#### 1. 提案概要

- 提案書のタイトル - 英語 15 語以内で簡潔に記入
  - 1 段落のサマリー(英語 300 語以下)
    - 誰のためのどのような課題解決か?
    - アプローチの特徴を 1 文で説明。
    - 12~18 カ月以内に達成できる主たる成果、
    - 本提案はなぜ今なのか?(時期、マーケットの観点)
- #### 2. トラックレコード(この分野で世界トップであること)
- 世界クラス的能力を証明する 3~5 件の主要実績(指標、創出物、出版物、受賞歴)
  - 国際的にトップクラスの創業者、テクノロジー、エコシステムと連携してきた証拠
  - 同様の規模の過去に手掛けたプログラム(参加者数、生存・成長率、資金調達額、知財創出、創出物等)
  - 主張する点を検証可能な第三者の参考文献やプレスリリース(リンクや引用)
- #### 3. 取り組む価値 (なぜこのプロジェクトが必須で、変革につながる可能性があるのか)
- 今回の提案で取り組む、日本/GSC のディープテックのパイプラインにおける具体的なギャップや課題
  - 目標とする定量的、または定性的なインパクト指標(スピンアウト、資金調達、人材集積など)
- #### 4. 独自性(既存アクセラ、ラボ、フェローシップと異なる点)
- 斬新な方法、知財ポジション、ビジネスモデルの革新性
  - 最も類似の他方法との比較表や違いの列挙(特徴、規模、成果)
  - 競合他社が簡単に真似できない独自資産(ツール、ネットワーク、データ)
  - 差別化により、創業者や研究者にどのような不連続の優位性が生まれるか
- #### 5. 調整可能かつ反復可能な設計(素早く学び、適応できることの証明)
- 高速のフィードバックループの仕組み(週次メトリクスレビュー、創業者レビュー、外部アドバイザー)
  - 過去の戦略転換やプログラムの反復の結果、成果向上した事例
  - 知見を得た後の、予算、人員配置、カリキュラムに反映する柔軟性
- #### 6. 責任(リスク認識と軽減)
- 主要な倫理上、法律上、規制上、または評判上のリスク(データ、デュアルユース技術、知財の競合、DEI 等)
  - 利用可能な既存のコンプライアンス体制(IRB、ISO、輸出管理等)
  - 具体的な対応策、責任者、レビュー周期
  - 予測不可能な問題発生時のエスカレーションパス
- #### 7. 明確に定義されたマイルストーン(要点で示す)
- スケジュールとマイルストーン
  - 業務フローと成果物、個々の担当者やタイムライン

- 検証可能な仮説で構成された、マイルストーンの各ステップ
  - マイルストーンごとの KPI と、「変更, 継続, 中止」の判断基準
  - 測定可能な進捗に報いる、チーム、メンター、創業者へのインセンティブ構造
8. 内発的動機付け（チームがなぜ気にかけていか、なぜそれが重要なのか。）
- 「創業者と課題がうまく適合した」個人的な、また専門家的なストーリー（各英語 150 語以下）
  - 主要メンバが各々このプロジェクトにコミットする時間（FTE%-フルタイム以外は特例であり、フルタイムのチームが望ましい）
  - 創業者と接した業務経験と学んだ教訓
  - チーム活動を効率化するユニークな分野横断的能力
9. GSC にとってのメリット（日本およびキャンパスにとっての長期的な戦略価値）
- 以下の達成方法：
    - 日本の創業者や起業家研究者の巻き込み
    - 日本企業とグローバルネットワークの橋渡し
    - 海外トップクラス VC やパートナーの誘致
    - グローバルリーダーへの道筋、またはエコシステムの能力の一段の向上
    - このプログラムの成功からの、GSC ポートフォリオの他部分の成功やリスク低減
    - GSC のグローバルなブランド力や SU 創出フローの向上
    - 具体的なエコシステム資産（プレイブック、データセット、政策の理解）の
    - 継続的、長期的な日本側 GSC チーム（内閣府、JST、運営法人、準備チーム等）との協力計画
10. 追加資料（添付資料、またはリンク。提案書の 5 ページには含まれない）
- 組織図とガバナンス - 役割、決定権、諮問委員会
  - 関係者の証言／報道／参考文献 - 簡潔な抜粋、またはハイパーリンク
  - 主要チームメンバーの CV - 1 人につき 2 ページ以内
  - オプション: カリキュラムのサンプル、ベンチャー・レポート、その他アプローチを紹介する資料
11. 概算予算（項目 7 の各マイルストーンとの関連）  
別紙にて提出
12. 内閣府所管競争参加資格審査結果通知書の写し